

人情劇に泣き笑い

高玉芝居定期公演



2月11日、蚕桑地区公民館で第9回高玉芝居定期公演が行われました。演目は「上州みやげ仇討桜」。役者さんの味のある演技とアドリブに、場内は拍手と笑いに包まれ、そして最後にはホロリとさせられ、地芝居「高玉芝居」の魅力が存分に味わえた公演でした。約3時間の公演でしたが、集まった約230人の観客は満足されたのではないのでしょうか。

卒業式まであと少し

蚕桑小でコサージュ作り



3月4日、蚕桑小学校の6年生が、繭を使った桜のコサージュ作りを行いました。繭は3年生が総合学習で作ったものが使われ、白とピンクの花びらは繭独特の柔らかな風合いになります。児童たちは「繭を花びらのように薄くするところが難しかった」と話していました。完成したコサージュは3月18日に行われる卒業式で、卒業生、保護者、先生の胸に飾られます。

大雪にも負けない

スキー場まつり



2月24日、町営スキー場で第31回スキー場祭りが行われました。前の週に行われたスキー大会の好天から一転し、朝からの大雪でしたが、子ども達には関係ないようです。雪中宝さがしでは隠した宝の上にさらに積もった雪をものともせず、開始の合図とともに飛び込み、全身雪まみれになりながら宝を探しました。その他スノーモービルの体験や、餅つき大会などが行われ雪の一日を楽しみました。

荒高生がんばってます

荒砥高校除雪ボランティア



2月9日、荒砥高校生が町内の除雪が困難な高齢者宅の除雪ボランティアを行いました。野球部とソフトボール部の22人が7件のお宅を訪問し、軒下に積もった固い雪をスコップやスノーダンプで取り除く作業を行いました。屋根までとどきそうな程積もっていた雪が片付けられると、高齢者の皆さんは「今年も雪が多かったので助かりました」と話していました。

しらたかそばまつり

3月2日から3日にかけて、あゆ茶屋で白鷹町そばの里づくり振興会による「しらたかそばまつり」が開催されました。開始時刻の午前10時になると次々と来場者が訪れ、白鷹産そば粉の手打ちそばを味わいました。2日間で約800人が訪れ「風味がいい」「コシがあつておいしい」などの感想が聞かれました。

